

# 都賀西方地域委員会後期活動報告▶▶▶▶

12月15日(日)開催

つがにしかた地域  
第2回国際交流のつどい



▲外国料理のコーナー



▲盛り上がったギニアの太鼓

都賀西方地域委員会 副委員長 手塚 芳江

栃木市合併後、第2回を迎え、つが・にしかた地域「国際交流のつどい」を12月15日(日)に行ないました。

芸能文化交流では西アフリカギニア共和国の伝統音楽や中国の二胡と琴のコラボ演奏、フラダンス、よさこいそしてコーラスなどなど、ギニアの音楽では参加者達も思い思いに音楽に合わせて踊りを見よう見まねで楽しんでいました。

又、今回の食文化では都賀町在住のロシア人による(ボルシチ)西方町に在住の韓国人による(チャプチェ・イカポッカ)栃木市在住のフィリピン人による(メヌード)そして、日本食はソバガキ・焼ソバ・餅など、各国の料理に舌鼓を打ち、最後にお楽しみ抽選会を行い、参加者全員で「ふるさと」を合唱し、回を重ねる度に大いに盛り上がり180名の参加者に最後までおつき合いをして頂き有意義な1日を過ごすことができました。

これも偏にスタッフの皆様、そして参加頂きました皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

5

栃木市国際交流協会だより  
第4号

# 日本語指導ボランティア研修会開催▶▶▶▶

3月15日(土)栃木市市民会館にて、現行の日本語教室の充実を図るため、日本語指導ボランティアの皆さんを対象とした研修会を行いました。

講師には昨年引き続き角田亮子さんをお招きし、「漢字の教え方」について習いました。特にタイ語を使った講義では、漢字圏以外の外国人が初めて漢字を見たときと同じ感覚を味わうことができ、学習者の立場を再認識する有意義な内容となりました。また、ボランティアの皆さんが外国人に漢字を教えるときに役立つテキストを協会の図書に揃え、外国人学習者には、筆ペンと罫線付きの漢字練習帳を配布できるよう日本語教室の備品を整えました。



※なお、この研修会は公益財団法人あしぎん国際交流財団の助成対象事業として実施いたしました。